令和８年度 豊中市総合計画審議会
第２回会議 議事要旨

【日　時】令和８年（2026年）10月14日　18：00～19：15
【場　所】豊中市立地域共生センター3階大会議室（Zoomによるオンライン参加併用）
【出席者】岸本委員、川久保委員（オンライン）、石川委員、吉村委員、久委員、高木委員、
　　佐藤委員（オンライン）、向井委員、森島委員
【欠席者】野崎委員、北川委員、高岸委員
【事務局】中尾都市経営部長、玉富都市経営部次長
　　都市経営部経営戦略課：松本、高橋、西浦、冨永、乗上
【傍　聴】3名
【案　件】第5次豊中市総合計画基本構想素案について
【資　料】（資料1）第2回総合計画審議会資料
　　（資料2）第5次豊中市総合計画基本構想（素案）
　　（参考1）第1回総合計画審議会資料（基本構想骨子案）
　　（参考2）第1回総合計画審議会議事要旨
　　（参考3）第1回総合計画審議会意見集
　　（参考4）第4次総合計画後期基本計画（全体版）

■開会

■成立要件の確認

事務局

本審議会規則第7条第2項に基づき、委員総数12名中9名の出席（会場7名、オンライン2名）により、会議の成立要件を満たしていることを確認。傍聴者は3名。

■資料の確認

事務局

配布資料及び当日資料を確認。

■第５次豊中市総合計画基本構想素案について

事務局

（第5次豊中市総合計画基本構想素案について説明）

会長

今回の審議会で出された意見を答申書として取りまとめ、市が責任を持ってパブリックコメントに付す案を作成するという進め方でよいか確認した。また、豊中市のあゆみ・特性や市民・事業者の声が将来像にどのようにつながるのか、全体の流れが文章からも伝わるよう、再整理してはどうか。

委員

豊中市の特性や誇れるものは、読み手が理解しやすいよう明確に示してはどうか。選定基準を整理し、今後、市として伸ばしていくものとの関係も検討してはどうか。また、「幸福」「幸福度」「満足度」「ウェルビーイング」の意味と使い分けを明確にし、説明を加えるか、表記を統一してはどうか。

事務局

市民の幸福を目的とし、その測定に幸福度を用いる考え方で整理しているが、わかりにくい部分があるため素案の修正時に整理する。

委員

「豊中市の誇れるもの」について、職員と市民・事業者の視点を分けて示すのか、一つにまとめるのかを検討してはどうか。また、地図に掲載された項目は説明の詳しさに差があるため、記載内容の詳しさをそろえてはどうか。

会長

地域福祉や国際交流など、市民や関係団体が担ってきた全国的にも誇れる取組みが抜けているのではないか。客観的な根拠に基づき、掲載項目を精査してはどうか。

委員

誇れるものやヒアリング対象の選定理由を明確にしてはどうか。地図は情報が多く見にくいため、交通利便性を示す図と、福祉・人権など誇れる取組みを示す情報を分けるなど、構成を工夫してほしい。また、将来像の実現に行政がどのような姿勢で取り組むのかを示すと、市民にとって安心感につながるのではないか。

会長

色使いはバリアフリーのデザインガイドラインに合わせてはどうか。また、市民・事業者・行政がそれぞれどのように将来像を実現するのかを示してはどうか。

委員

将来像の表現は長く、10 年間使用する言葉としては覚えにくいため、より簡潔で印象に残る表現を検討してはどうか。

会長

「くらしの豊かさ実感都市　とよなか」を前に出し、「40 万のえがお　つながる　うまれる　かがやくまち」を副題とすることも考えられるのではないか。

委員

将来像の各語にはそれぞれ意味があり魅力的であるが、表現が長いため、主題と副題の順序を入れ替

える案はよいと思う。全体としては、前半で豊中の具体的な特徴が示されている一方、後半では「人」「幸福」「共創」という一般的・抽象的な表現になっており、豊中らしい資源と将来像とのつながりが弱いように感じる。基本構想として、豊中らしさを保ちながら、どのようなまちをめざすのかを、より具体的に示してはどうか。

事務局

具体的な特性と抽象的な将来像をつなぐ説明を、もう一段階加える必要があるか検討する。

委員

イラストは2037年の人口構成を踏まえ、描かれる人物の年齢や世代のバランスを検討してはどうか。また、冊子だけでなく、AIやデジタル技術を用いて読み取りやすいデータ形式での公開も検討してはどうか。

会長

「社会の展望」の内容が人口問題に偏っているのではないか。AIの急速な進展、地球環境問題と災害リスク、不安定な国際情勢や物価高など、今後10年間に影響する世界的な動向も基本構想に記載してはどうか。

委員

副首都構想やリニア中央新幹線の進展も見据え、日本全体の中で豊中市をどう位置づけるかという観点も検討してはどうか。

委員

世界情勢の影響を念頭に置くことは重要だと思う。一方、変化の速い状況を10年間の基本構想にどこまで盛り込むかは、慎重に検討した方がよいのではないか。

事務局

10年間を見通す基本構想では人口を主要課題とし、変化の速いデジタルやAI等は5年間の基本計画で扱う考え方もある。意見を踏まえて検討する。

会長

さらに先の将来像から逆算して考える「バックキャスティング」の視点も必要ではないか。目の前の変化への対応だけでなく、将来を見据えた先見性を基本構想に持たせてはどうか。

委員

「社会の展望」の中見出しが「国の現状」「市の現状」となっているが、将来の見通しも含むことが伝わる表現に見直してはどうか。また、地域幸福度に関する研究成果を今後の基本計画等で活用し、ウェルビーイングの具体化につなげてほしい。

委員

将来像は「くらしの豊かさ実感都市」を前面に出し、その他の要素は説明文で補う方法も考えられるのではないか。また、イラストに示す市民・事業者・行政の並び順は、市民を最初に置くなど、市民主体の考え方が伝わるようにしてはどうか。

事務局

イラストはラフ案であり、行政を先に置く意図はない。市民・事業者・行政の関係や全体デザインを含めて調整する。

委員

「救命力世界一」「自治体 DX 全国トップレベル」「チアのまちとよなか」「事業所数府内 4 位」などを誇れるものとして掲げるのであれば、その根拠、実現に至った経緯、市の関与を示してはどうか。特に事業所数については、小規模事業所が多い実態も踏まえ、表面的な数値だけでなく産業の現状や課題についても検討してほしい。また、人口 40 万人を維持できている理由、外国人住民を含む人口構成や共生についても分析してはどうか。服部緑地のような豊中固有の資源にも着目し、将来に向けた可能性を検討してほしい。

委員

基本構想、基本計画、施策のそれぞれに記載する内容を整理した上で議論してはどうか。将来予測が難しい時代だからこそ、変化の中で何を大切にしたいかという市の意思を示すことが重要ではないか。人口等の将来推計を示し、その見通しを踏まえて市が何をめざすのかを明確にすると、基本構想に込めた市の意思が伝わるのではないか。

会長

「誇れるもの」を掲載する意味と、それにふさわしい項目であるかを精査してはどうか。ウェルビーイングについても、国や国際機関が取り組んでいるから採用するのではなく、豊中市として重視する意思を明確に示してはどうか。

委員

「誇れるもの」は過去の実績だけでなく、今後 10 年間に向けて大切にしたいものという観点でも整理できるのではないか。

会長

本日の意見を答申書にまとめ、市は答申を踏まえた素案をパブリックコメントに付し、寄せられた意見を検討・反映した素案を、皆様に共有させていただく。

■その他

事務局

次回の総合計画審議会に係る案内

■閉会

（以上）